

## 農村振興局長賞（捕獲鳥獣利活用部門（個人））

安全で美味しいジビエの提供に向け、自ら捕獲から処理加工、販売の一連の取組を進めるとともに、県全体の処理加工技術の向上や都市との交流に尽力し、「とやまジビエ」ブランドの振興に寄与。

いしぐる もくたろう  
石黒 木太郎

主な取組

とやまし  
富山県富山市

- 氏は、地元で被害の増え始めたイノシシ対策のため、平成26年に狩猟免許を取得し、集落の捕獲活動に従事。  
その後、平成28年にジビエ処理加工施設「大長谷ハンターズジビエ」を開設し、自ら捕獲、処理加工、販売までの一連の取組を開始。
- 県のガイドラインに基づく衛生管理を徹底するとともに、獣医師からイノシシ等の疾病判断や衛生的な解体処理技術の指導を受けるなど、安全かつ美味しいジビエの提供に尽力。
- 近年は、県内各地のジビエ調理講習会の講師のほか、処理加工施設の視察や研修を積極的に受け入れるとともに、県が設置した「富山県ジビエ研究会」の委員に就任するなど、地域内外での「とやまジビエ」ブランドの振興に寄与。
- また、地元レストランへのジビエの提供や、県が主催する移住・定住を目的とした田舎暮らし体験ツアーで講師を務めるなど、地域の活性化や都市住民との交流にも貢献。

【イノシシ処理頭数 H29年度：48頭（富山県内処理頭数の約45%）】